



法人・施設紹介

基本理念は「人間を大切にすることがすべての根元である」です。この『人間』はご利用者様はもちろんですが、職員に対しても向けられています。一人一人が末永く安心して働いて頂けるよう法人運営をしております。



職場選び3つのポイント!

職場の人間関係を良くするために
人間関係良好。離職率8.3%!
 令和2年度の法人全体の離職率は8.3%となっており、これは各職場の人間関係が良好な事の証です。年1回のストレスチェックの実施をはじめ、不安や悩みがあれば産業医の個別面談を受けることができます。



スタッフの声

Staff Voice!

未経験でも丁寧に指導をもらえて、夜勤もお仕事ができるようになってから入るのでとても安心です。介護士と看護師のチームワークがとても良く職種の垣根がないので、とても動きやすい環境です。

新人職員へのサポート
チューター制度で、新卒・未経験者でも安心!
 新入職員集合研修をはじめ、経験の少ない新卒や中途職員の様々な不安を解消する目的で、チューター(世話役)制度を採用しています。希望する職員は動画研修を受講することもできます。

中堅・ベテランスタッフへのサポート
法人内外の研修で刺激をもらえる!
 2年前に研修制度を見直し、それぞれの立場や役割に応じた階層別研修を実施しております。また外部研修や法人内研修に参加する事で、積極的なスキルアップを目指すことができます。

資格取得支援
8種類の資格取得補助金あり!
 実務者研修・社会福祉主事、喀痰吸引等研修などの受講費用半額補助をはじめ、介護福祉士・社会福祉士・保健師・介護支援専門員・調理師の受験費用全額補助があり、働きながら安心して資格を取得することができます。

結婚・出産・妊娠・育児のサポート
産前産後休暇がそれぞれ8週間!
 法人や互助会からの各種祝い金のほか、産休が産前8週産後8週と長いことが特徴です。また育休の取得率や育児時短を使いながらの復帰率が100%です。木戸病院内の託児所『いちご畑』も割引料金で利用できます。

給与面で工夫している点
異業種の方も歓迎! これまでの職歴考慮します^^
 基本給は福祉業界以外の経験も含めた職歴を考慮の上、決定しています。処遇改善手当は月額21,000円を支給。住宅手当・扶養手当・通勤手当は国公準拠の為、対象者はメリットが大きいです。

休日面で工夫している点
年間休日121日! その他休暇あり☆
 年間休日121日+リフレッシュ休暇4日で、職員の都合に合わせて希望休も取得できます。有給休暇は6ヶ月経過後10~15日付与、翌4月1日には16日付与されます。有休が『時間単位』で使用できるのも特徴です。

社会福祉法人 亀田郷芦沼会 ショートステイ あしぬま



- 募集職種** ▶ 介護職員(正職員)
給与 ▶ 164,550円~286,790円(処遇改善手当・特定処遇改善手当含む)+夜勤手当+諸手当等 ※法人給与規程に基づく
仕事内容 ▶ ショートステイあしぬまにおける入浴・食事・排泄などの介護業務全般
資格 ▶ 不問(初任者研修などあれば尚可)
勤務時間 ▶ (1)7:00~15:50 (2)10:10~19:00 (3)14:40~翌7:40
休日 ▶ 年間休日121日(シフトによる、※令和3年度)+リフレッシュ休暇4日
待遇・福利厚生 ▶ 社保完備、退職金制度あり(福祉医療機構退職共済制度、新潟県民間社会福祉職員退職積立制度)、賞与年2回(前年2.4ヶ月)、住宅手当(上限28,000円)、扶養手当(配偶者6,500円、子1名につき10,000円)※15~22歳はプラス5,000円)

問い合わせ
 ※電話の際に「コマチの介護フリーマガジンを見た」とお知らせください。
求人問い合わせ電話番号 (担当:沖村)
☎025-271-1016
 社会福祉法人 亀田郷芦沼会
 新潟市東区はなみずき2-3-7
 jinji@ashinuma.com



社会福祉法人 亀田郷芦沼会 ショートステイ あしぬま



社会福祉学科 介護福祉コース3年 伊藤 友紀さん

藤原 愛さん

介護プロガーのCHECK!



新潟医療福祉大学 五十嵐 紀子さん

1 自分で選ぶことを大切に

事前にHPで情報をチェックしていた学生の目に留まったのは、季節ごとの行事として行われている「デザートバイキング」。なんと芦沼会では昭和59年に既にバイキング形式の食事を取り入れていたのだそうです。実際は利用者さんご自身で食事を選びとることができなくても、スタッフがお料理のところまでお連れして、「選ぶ」というプロセスを一緒に楽しんでいるのだそうです。自分で選択をする、ということをとっても大切にしているということがわかるお話でした。



2 自由な雰囲気

学生は介護施設での実習を重ねてきましたが、今回ご利用者さんたちが過ごすフロアにお邪魔し、そこでの光景が実習で見慣れていたものとはずいぶん違うことに驚いていました。写真撮影をしている私たちにフレンドリーに話しかけて下さる方、洗濯物を畳みながらおしゃべりされている方々、何やら話し込んでいるおふたりなどなど。自由な雰囲気がとても印象的でした。自由に自分の過ごし方を選べる空間とどのようなものか、肌で感じる事ができる貴重な体験になったようです。



3 電子化で教え合う関係性

こちらの施設では、3年前前から介護記録の管理による電子化を導入しているとのことでした。機械が苦手な職員さんにとっては負担に感じるといふ訴えが多く電子化が進まない事業所もあるように聞きますが、こちらではツールに強い若い職員さんが、苦手なベテランの職員さんに教えるという姿がよく見られるようになったそうです。教え、教えられるという役割を固定化しないことが、職場のコミュニケーションを良好にするヒントになりそうです。



課題・目標



地域の未来予想図「あしぬま夢マップ」の実現

亀田郷芦沼会設立40周年記念誌「こもれ陽」には、実現したい地域の未来予想図「あしぬま夢マップ」が楽しいイラストで掲載されています。日常の中で多世代がわくわくしながら交流できるアイデアに、学生たちは目を輝かせ、こんなことできたらいいですね!とさらに夢を膨らませていました。実現できるかどうかは置いて、こんな社会を実現させたい!こうなったらいいな!という妄想を語り合う関係性のある職場に学生たちを送りたいと心から思いました。